

人はなぜ学ぶのか 9

～なぜ勉強・学習しないといけないのか～

敷津小学校 原 雅史



前回お話ししました、ヘーインディアン^{マナビ}の学びを少し付け足します。彼らは生きるために学ぶのですが、それを全く苦に思っていません。それもそうですね。学ばなければ死ぬのですから。学ぶことは生きることですが、学ぶことは当たり前、むしろ学ばない方が自然ではないのです。学びというのは、それぐらい人にとっては自然な行為に近いものなのです。勉強や学習はしなければならないものではなく、自然とそう始めるものなのです。本来は。

「人はなぜ学ぶのか」もいよいよ大詰めです。今日はこんな英文からはじめたいと思います。

It can be difficult to get along personally with everyone in the world. However, it is very important to be interested in climate, nature, language, food, clothes, houses, etc., and to get along with people who live there. By doing so, you can connect with them more deeply.

これは、私が大学浪人時代に通っていた予備校の英語のテキストの文章です。

(日本語訳)

世界中の全ての人と個人的に仲良くなることは難しいかもしれません。しかし、世界の各地の気候、自然、言葉、食べ物、衣服、家などに興味を持って、そこに住んでいる人と仲良くなることはとても重要です。そうすることで、より深く彼らと繋がることができます。

前にもお話ししましたが、私は本当に勉強が苦手で、何のために学校に通っているのか、何のために勉強しているのかわからないまま、小学校、中学校、高校まできました。そしてそんな状態ですから、高校3年生のときに受験した大学は全て不合格となってしまう、浪人となりました。そこで予備校に通い始めたのですが、そこで上記の文章と出会い心が痺れたのを今も覚えています。本当はもっと長い文章なのですが、その一部を抜粋しました。

高校3年生までは理系に所属し、化学と数学が得意で、薬剤師か何かの研究でもしようかなど、自分が何になりたいか、憧れの職業などもないまま、ふらふらとしていたのですが、この文章に出会って、ようやく「目標」が定まったのを覚えています。

何となく、人と繋がるようなことをしてみたいとか、世界中の知らない国や街に行って探検してみたいとか、ぼんやりしていた夢が、この文章に出会って、自分が何をしたい

のかが少しですがはっきり見えてきたように思います。明確になりたい仕事までは決まり
ませんでした。自分がどんな生き方をしたいのかは、自分のめざすゴールはどこにある
のかが、これで少しはかたまっていました。そうすると、当然勉強にも身が入り学 力
が伸びていきました。

「人はなぜ学ぶのか」
学びの基本は、前回お話ししました、ヘヤー・インディアンの学びだと 私は考えてい
ます。「生きるために学ぶ」のですが、さらに「自分がどんな幸せをつかみたいのか」「自分
にとって良い人生を見つける」ために人は学ぶのではないのでしょうか。

そして、もうひとつ「人はなぜまなぶのか」には答えがあります。ヒントは、今日の文 章
の中にありますよ。

(つづき はまた次回にお話します)